

優先施策「エネルギーツーリズムの実現」について

平成 2 7 年 8 月

小田原市エネルギー政策推進課

再生可能エネルギーの導入促進（エネルギーツーリズムの実現）

1 - ⑤エネルギーツーリズムの実現

1 背景

- 小田原市エネルギー計画の計画期間である2022年までに、計画に掲げる大幅な再エネ率の向上を達成するためには、**市民や事業者がエネルギー計画の目標を共有しつつ、それぞれの役割や責務を果たし、一丸となって効果的に推進することが重要。**
- 小田原の特性を生かした再生可能エネルギー事業をつなぎ、ツーリズムとしての仕組みを構築し、エネルギーの学びの場とするとともに、地域経済の活性化も促進する。

2 事業概要

（1）エネルギーツーリズムの実現

市内のメガソーラーや小水力発電事業など、小田原の特性を生かした再生可能エネルギー事業を結び付け、エネルギーツーリズムとしての仕組みを構築し、本市の魅力を向上につなげる。全国から集客を行うことで、地域経済の活性化も促進する。

再エネ導入割合の大幅増加、目標達成

1 人材育成、意識啓発

2 仕組みづくり、事業化検討

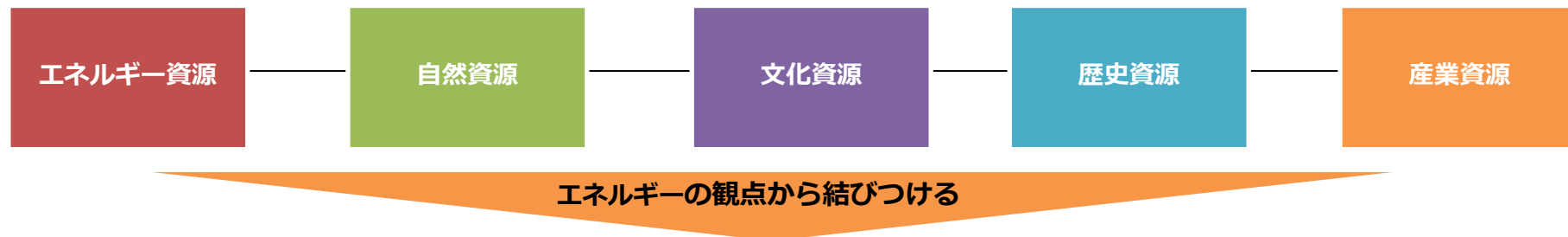
3 直接の効果、自立的な推進



小田原市における環境・エネルギー観光資源とその論点

- エネルギーツーリズムの立ち上げにあたっては、まず地域において観光客を呼び込むことができるような「**エネルギー観光資源**」を**発掘、確認**することが必要。
- さらに、地域経済への好影響につなげるため、エネルギー以外の観光資源についても含め、時季の制限事項等の観点から有望な地域資源を整理する。

＜小田原市の考え方・取組方針＞



複数の資源をつなぎ合わせ、ひとつのエネルギーツアーのコンテンツとして整備。**資源の性質により訴求対象は異なるが、これらを組み合わせることによりツアーのターゲットとする市場を拡大することが重要。**まずは、小田原市で毎年実施している旅行業者等を対象としたプレスツアーを活用し、**コンテンツとしての有望性と課題についての把握**につなげる。

○本市地域資源の整理

施設等名称	資源の種類	季節等による制限	エネルギーとの関連
小田原メガソーラー市民発電所	エネルギー資源	屋外型のため荒天時×	—
小水力発電所遺構	歴史資源	屋外型のため荒天時×	大正時代の発電所
民間整備の先導的再エネ導入施設	エネルギー資源		
⋮	⋮	⋮	⋮

＜論点＞

- 小田原において訴求力、競争力のある地域資源は何か？
- 人や金が地域内で回るよう、エネルギーをキーワードに文化・歴史・産業資源をつなぎ合わせられるか？また、それをどのような手法でPRしていくべきか？
- 施設等までの交通手段をどのように確保するか？

参考（エネルギーツーリズムについて 小田原市プレスツアー）

1-⑤エネルギーツーリズムの実現

小田原市広報広聴課では毎年、**出版社、旅行業者、宿泊業者及び交通機関等**の事業者を招き、小田原市の観光等の様々な地域資源スポットを案内、その魅力を体験してもらう「プレスツアー」を実施している。
このツアーで有望なコンテンツについては参加事業者が各メディアで紹介いただくほか、旅行商品開発にも活用される等が期待される。
さらに、**コンテンツの魅力向上のためのアドバイス等も受けることができる。**

ODAWARA Press Tour

上質なプライベート空間へご招待

🐟 今日こそはあの魚に会えるかな・・・

1000 種を超える魚種

全国で獲れる魚種の約 4 割が獲れる小田原漁港周辺では、鰯や金目鯛などはもちろん、スマキやオシツケなどの珍しい魚もメニューに並びます。

ただ、一つひとつの漁獲は多くないので、「いつでも必ず会える」訳ではありません。まさに、「一期一会」の小田原の海の幸は、何度訪れても新たな出会いがあります。

もしがいたら、何度訪れても「出会えない恋」なんてことも・・・



🌸 小田原の紅葉はしっとり楽しむ



松永記念館

近代三茶人の一人で、電力王として名を馳せた松永耳庵（安左衛門）が設立した記念館で、現在は市所蔵の美術品等を公開しています。
中央の池の周りには奈良・平安時代の石造物が点在し、喧騒から離れた空間を演出する名園です（日本の歴史公園 100 選）。
また、耳庵が晩年を暮らした老樺荘（登録有形文化財）は、茶室・寄付など各部屋にみられる近代数寄屋建築の意匠が見えます。

古稀庵

明治の元勳山縣有朋（首相、枢密院議長、陸軍元帥）が、明治 40 年（1907）、70 歳のときに構えた別荘です。
相模湾と箱根山を借景に築造された「古稀庵」は、有朋の所有であった目白橋山荘・京都無隣庵とともに、近代日本庭園の傑作といわれています。



※小田原の紅葉は 11 月末頃です。

開催日には紅葉していませんが、写真はご提供できます。

🌐 小田原の伝統は新しい

寄木細工といえば、お土産物屋さんに並ぶ文箱や手鏡などの伝統的な紋様を思い浮かべませんか？

もちろん、伝統的な技法は受け継ぎつつも、デザインや用途は新しく進化しています。自分好みの一品物を大切にしたいという方におススメです。

小田原にはこうした伝統工芸品の工房がいくつか点在しています。寄木、漆器、鋳物、木工・・・それぞれの工房を直接訪れることで、作品に吹き込まれた作り手の想いをよりいっそう感じることができます。



📅 行程表

開催日：平成 26 年 10 月 1 日（水）、2 日（木）、4 日（土） 各回 9:45～16:45

対象者：出版社、旅行代理店、交通機関など広く PR する媒体を所有する企業及び PR 媒体の編集者

参加費：無料 ※小田原駅までの往復交通費はご負担ください。 定員：各回 20 人

行程

9:45	小田原駅 JR 改札口 巨大ちようちん前 集合
10:00～10:30	一夜城3ロイツカファーム
10:35～11:05	石垣山一夜城歴史公園
11:15～12:45	小田原漁港（昼食含む）
13:00～14:00	早川エリア散策
14:00～14:45	前田商店（干物）～太田木工（箱根細工）
14:45～15:10	箱根板橋駅～下田豆腐店（試食あり）～内野邸
15:15～16:10	秋葉山量覚院（山伏の寺）
16:15～16:45	松永記念館・老樺荘
16:45	竹の小道～古稀庵
17:00～	箱根板橋駅 解散
	小田原駅周辺にて懇談会（会費：3,000 円）

タクシー等で移動します

メディア掲載実績

- 新聞 3 紙
- 雑誌 4 誌
- SNS、ネット掲載 2 媒体

新たな取組につながった例

- 旅行商品の開発 2 件
- ホテル等での地場商品の取扱
- 小田原梅まつりとタクシー会社とのコラボ